

火災から身を守るために、

玉野市立築港小学校六年 上田航平

令和七年三月二十三日、家族で岡山に向かっている途中で、玉野市の東旭方面の山から煙が上がっているのを見ました。

「一体どうしたのだろう。」

と、とても不安な気持ちになりました。

その火は用事を終えて家に帰ろうとした時にもまだ消えていない様子でした。その後の情報で、岡山市南区飽浦の山林からの出火だという事が分かりました。でも家までの道を通って帰れば良いのか大変に迷いました。

二日後に玉野市の番田、北方地区にも避難指示が出た為、母の職場でもお休みをされた方がいたという事を知りました。

「今日は消えただろうか。」

と不安な毎日が過ぎました。玉野市消防本部からも消防車両や消防隊員の出動、玉野市消防団、自衛隊の応援もあり、火事は、四月十一日にやっと鎮火しました。その知らせを聞

くまでの時間は、とても長いものでした。しかし、現場で実際に火事と向き合い、二十四時間体制で消火活動に当たって下さっていた方々のご苦勞を思うと、心からの感謝の気持ちと、無事に鎮火することを祈る事しかできなかった。自分がちっぽけに思えて、大変に申し訳ない気持ちで胸がいっぱいになりました。五月に入り、玉野市消防団が、消火活動に尽力したとして、市長より表彰をされた事を知りました。少しでも市民の皆さんに、消防団員の方々のご苦勞を知って頂く良い機会になったのではないかと感じました。

今は何もできないうちで感じたばかりでしたが、この火災を通して学んだ事が二つあります。一つ目は、火災を起こさないためには、火災の恐ろしさを知り、火事予防の大切さを心掛けた生活を送る事。そして二つ目は、自分たちの地域は自分たちで守るという意識をもつて活動する消防団の大切さを知った事でした。火事ゼロの玉野市になりますように。